

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | 仙台市袋原たんぽぽホーム | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和7年 2月 5日 | | ～ 令和7年 3月 4日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 34名 | (回答者数) 34名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和7年 2月 5日 | | ～ 令和7年 3月 4日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 11名 | (回答者数) 11名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 3月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 保護者と子どもと一緒に活動をする中で保護者と子どもの姿を共有し、子どもに合わせた対応や環境を一緒に考えらるること。 | 保護者勉強会を設定し子どもの見方、育て方を学ぶ機会を設け発達や特性理解を深めらるようになっている | 日々の療育を行う中でもしっかりと保護者と支援計画の内容を確認しながら療育を進めていきたい |
| 2 | 子どもの特性や発達に合わせたあそびの内容や環境調整(構造化)の工夫をし、分かりやすい環境の中であそびを通して発達を促していくこと | 活動ごとに場所を作り、全体の流れや作業の手順、活動の開始や終了時を視覚化するなど、発達の段階に応じて見て分かる工夫に努め、保護者とも共有をしている | 引き続き「見て分かる」環境を大切に、子どもが意欲的に活動に参加できる環境をつくっていく |
| 3 | 地域の児童館の行事の参加、地域のネットワーク会議に継続して参加している。 | 隣接保育園とは、開園当初から、交流を行っている。地域相談員が配置されてからは定期的に訪問を実施し、相談も受けている。 | 地域施設支援の拡大と充実。継続して施設職員向けの勉強会の開催。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|-----------------------------|---|
| 1 | 利用定員に対して職員の配置は適当であるが、職員配置に工夫が必要となり、行き届いた支援が難しい場合がある | 職員が欠員の状況 | 人材育成と、作業の効率化を図り働きやすい環境をつくっていくこと |
| 2 | センターとは連携ができていないが、事業所との連携が少ない | 事業所を使っている児が少なく、事業所との係りが少ない。 | 事業所の見学等を積極的受け入れ、センターの業務を理解してもらうことから始めてはいるが、こちらからも事業所見学に行き、取り組み等や活動をみることで理解をして、互い顔の見える関係作りをしていく。 |
| 3 | 職員が、活発に意見を出し合っているが、業務改善にまでは至っていないことがある | 反省としての意見だけで終わってしまうことがある。 | ・反省をもとに、具体的に改善点を明確化し、業務改善にむけてスピーディーに取り組む |